

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公表番号】特表2012-510429(P2012-510429A)

【公表日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2011-525159(P2011-525159)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/00	
C 0 7 K	14/705	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/675	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インビボにおいてPD-1受容体のリガンドと結合し、PD-1受容体シグナル伝達を低減または阻害するのに有効な量のPD-1受容体アンタゴニストを含んでなる、組成物。

【請求項2】

PD-1アンタゴニストが、B7-H1ポリペプチドと結合し、B7-H1ポリペプチドと、PD-1受容体との結合を阻害または低減するB7-DCポリペプチドまたはその断片を含んでなる、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記断片が、B7-H1と結合するB7-DCの細胞外ドメインもしくはその断片、またはB7-DCと結合するB7-H1の細胞外ドメインもしくはその断片を含んでなる、

請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

P D - 1 アンタゴニストが融合タンパク質を含んでなる、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記融合タンパク質が、P D - 1 受容体を介したシグナル伝達を誘発せずに P D - 1 受容体と結合する、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

P D - 1 受容体アンタゴニストが、B 7 - D C ポリペプチドと結合し、B 7 - D C ポリペプチドと、P D - 1 受容体との結合を阻害または低減するB 7 - H 1 ポリペプチドを含んでなる、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

P D - 1 受容体アンタゴニストが融合タンパク質を含んでなる、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく、インビボにおいて P D - 1 と結合するのに有効な量のポリペプチドを含んでなる、組成物。

【請求項9】

前記ポリペプチドが、シグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変されたB 7 - D C またはB 7 - H 1 ポリペプチドを含んでなる、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記ポリペプチドが、そのポリペプチドが P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変されたB 7 - D C またはB 7 - H 1 の変異体細胞外ドメインを含んでなる、請求項8に記載の組成物。

【請求項11】

- a) 第一の融合相手と、
- b) 第二の融合相手と

を含んでなり、

第一の融合相手が、P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変された P D - 1 のリガンドの変異体細胞外ドメインまたはその断片を含んでなり、かつ該第一の融合相手が第二の融合相手と直接融合されているか、または場合により、第二の融合相手と融合されているリンカー配列と融合されている、融合ポリペプチド。

【請求項12】

第二の融合相手が I g 重鎖定常領域の 1 以上のドメインを含んでなる、請求項11に記載の融合ポリペプチド。

【請求項13】

第二のポリペプチドがヒト免疫グロブリン C 1 鎖のヒンジ、C H 2 、および C H 3 領域に相当するアミノ酸配列を含んでなる、請求項12に記載の融合ポリペプチド。

【請求項14】

第一のポリペプチドが、P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変されたB 7 - D C またはB 7 - H 1 の細胞外ドメインを含んでなる、請求項11に記載の融合ポリペプチド。